

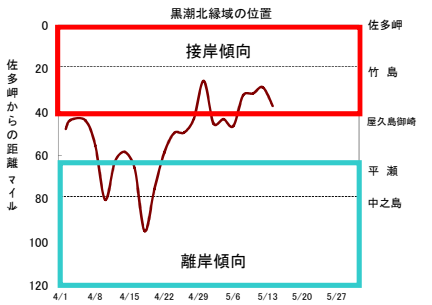


## 【海況】

**○黒潮北縁域(薩南～トカラ群島海域)**  
黒潮北縁域は、5月14日現在、屋久島御崎の北3.8マイル付近にあり、接岸している。

**○黒潮流軸(種子島東)**  
種子島東の黒潮流軸は、5月14日現在、20マイル付近にある。

**○定期船等による表面水温**  
各海域の表面水温は、先週と比較して与論で変わらず、その他の海域で0.2～1.9℃昇温した。  
平年比較では、竹島で“著しく高め”、屋久島御崎、中之島、笠利崎で“かなり高め”、鹿児島で“平年並”、その他の海域で“やや高め”となった。



黒潮北縁域の位置

定点名	実測値	先週比較	平年比較	評価
黒潮流域	26.3	+0.2	+0.8	やや高め
鹿児島	20.9	+0.3	+0.3	平年並
佐多岬	22.2	+0.6	+1.0	やや高め
竹島	24.8	+1.9	+2.3	著しく高め
屋久島御崎	25.6	+0.2	+2.2	かなり高め
中之島	26.1	+1.2	+1.1	かなり高め
笠利崎	25.0	+1.0	+1.4	かなり高め
与路島	24.0	+0.3	+0.7	やや高め
与論	24.2	+0.0	+0.5	やや高め
甕海峡	21.1	+0.8	+0.7	やや高め

鹿児島一那覇定期客船観測は5/14-15  
串木野一鹿児島定期客船観測は5/14

## 【漁況】

**○定置網**  
甕島海域では、週計でマサバ(0.3～1kg)が3.2トン、ブリ(4～9kg)が1.8トン、マダイ(0.5～3kg)が560kgの入網。西薩南部海域では、マサバ(500g)が1日のみ2トン、オキヒラキ(7cm)が1日のみ2トン入網。鹿児島湾口部薩摩半島側では、ハガツオ(1.5kg)が500～600kg/日、カンパチ(4kg)が多い日で300尾/日、ゴマサバ(500～600g)が多い日で200kgの入網。鹿児島湾口部大隅半島側では、週計でカンパチ(1.5～4.5kg)が1600尾、ゴマサバ(400～600g)が2トンの入網。大隅半島東部海域では、週計で45統がサハ類小、マアジ豆、シラ主体に44トンの入網。志布志湾南部海域では、週計でカクチイワシ、ブリ、マアジ主体に21.3トンの入網。

**○トビウオロープ曳網**  
種子島海域では、中トビを1～44箱/統・日、大トビを3～4箱/統・日の漁。屋久島海域では、中トビを24～170箱/統・日、中中トビを8～23箱/統・日、セトビを4～12箱/統・日、青トビを1～7箱/統・日、小トビを1～2箱/統・日の漁。

(まき網、棒受網、カツオ単釣の漁況は下記の表に記載しています。)

### 業種別・漁港別水揚げ状況

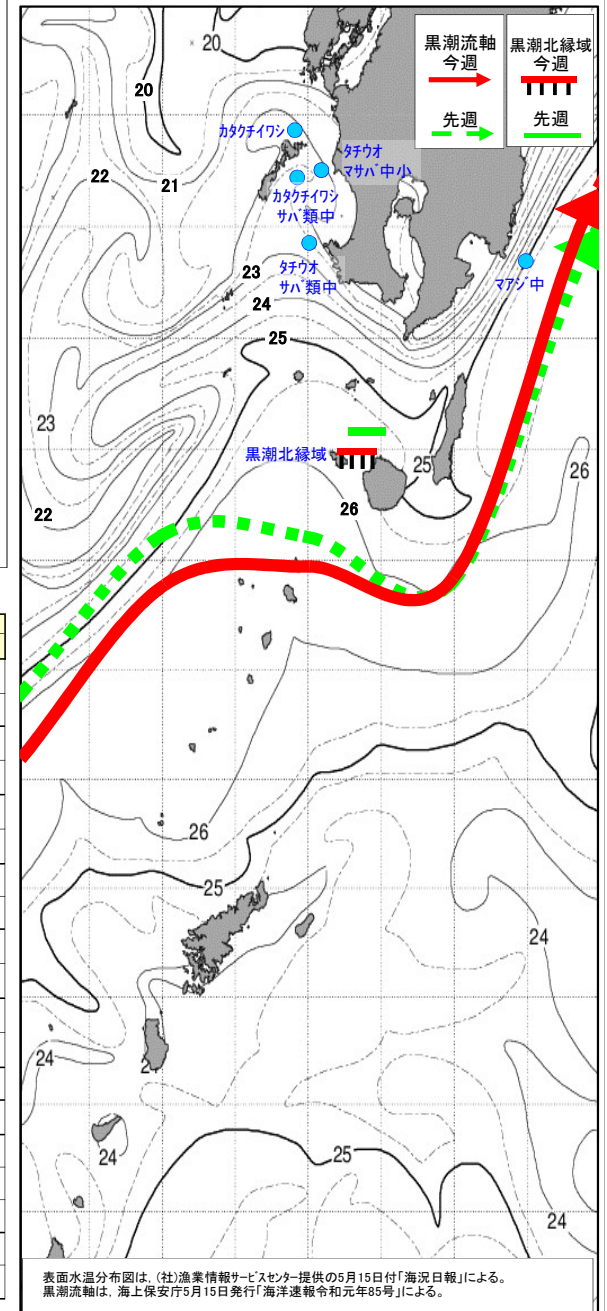
漁業種類	漁港	隻数	漁獲量(トン)	漁場	魚種組成(%)	※前年同期(第2756報)				
						1日1統	前週隻数	前週漁獲量	前年同期隻数	前年同期漁獲量
旋網	阿久根	大	8	250	縄瀬	31.2	3	98	3	30
		中	28	473	野間池沖 縄瀬 甕東	16.9	2	34	4	27
	枕崎	大	1	46	甕東	46.3	0	—	2	41
		中	16	478	串木野沖 野間池沖 都井岬沖	29.9	5	149	15	441
	内之浦	中	0	—		—	0	—	0	—
	山川	中	0	—		—	0	—	0	—
	計	大	9	296		32.9	3	98	5	71
中	44	951			21.6	7	183	19	468	
東海旋網	阿久根	0	—		—	0	—	0	—	
	枕崎	1	46	マアジ中34 マアジ豆26 ゴマサバ大16	45.8	0	—	0	—	
棒受網	阿久根	60	47	阿久根沖 長島	0.8	11	13	37	30	
	内之浦	0	—		—	0	—	0	—	
定置網	内之浦	45	44	サハ類小19 マアジ豆17 シラ17	1.0	31	75	38	47	
刺網	阿久根	118	20	甕 阿久根沖 長島 牛深沖	0.2	48	7	133	26	
	大	0	—		—	0	—	0	—	
カツオ単釣	枕崎	小	0	—	—	0	—	0	—	
	海旋	3	2226	カツオ中66 カツオ小22 キハダ8	742.1	0	—	1	5	
	海外旋網	山川	中	8	87	10.9	2	8	3	28
	海旋	2	845	カツオ小67 カツオ中24 マチ5	422.5	1	722	1	323	

## ○キビナゴ刺網

甕島海域では、5～10箱/隻・日の漁。鹿児島湾口部大隅半島側では、週計で50箱/隻の漁。

## ○その他

西薩海域では、ごち網でマダイ(0.8～1kg)を5～60kg/隻・日、チダイ(200～400g)を3～30kg/隻・日の漁。刺網でコウイカ(1kg)を10～50kg/隻・日の漁。延縄でキタイ(300g)を5～20kg/隻・日、アカマタイ(300～400g)を6～15kg/隻・日の漁。西薩南部海域では、底曳網でヒゲナカエビを50～200kg/隻・日の漁。一本釣りでアカハタ(400～500g)を10～30尾/隻・日の漁。大隅半島南部海域では、潜水器でトサカリを3～4トン/日の漁。志布志湾海域では、底曳網でカワリ(100～200g)を30kg/隻・日、キタイ(100～500g)を20kg/隻・日、ハモ(0.6～1.2kg)を10kg/隻・日の漁。熊毛海域では、一本釣りでゴマサバ(500～600g)を50尾/隻・日の漁。一本釣りの2日操業でハマタイ(2～3kg)を150kg/隻の漁。曳縄でハガツオ(2～3kg)を180～240kg/隻・日の漁。奄美南部海域では、旗流しの3日操業でソテイカ(胴体のみ11kg)を70ハイ/隻の漁。延縄の4日操業でムツ(1kg)を300kg/隻、マダイ(7～8kg)を200kg/隻、キンメダイ(1.2kg)を50kg/隻、ナンヨウキンメ(2kg)を50kg/隻の漁。



表面水温分布図は、(社)漁業情報サービスセンター提供の5月15日付「海況日報」による。  
黒潮流軸は、海上保安庁5月15日発行「海洋通報令和元年05号」による。